



R7藤沢市長期インターンシップ

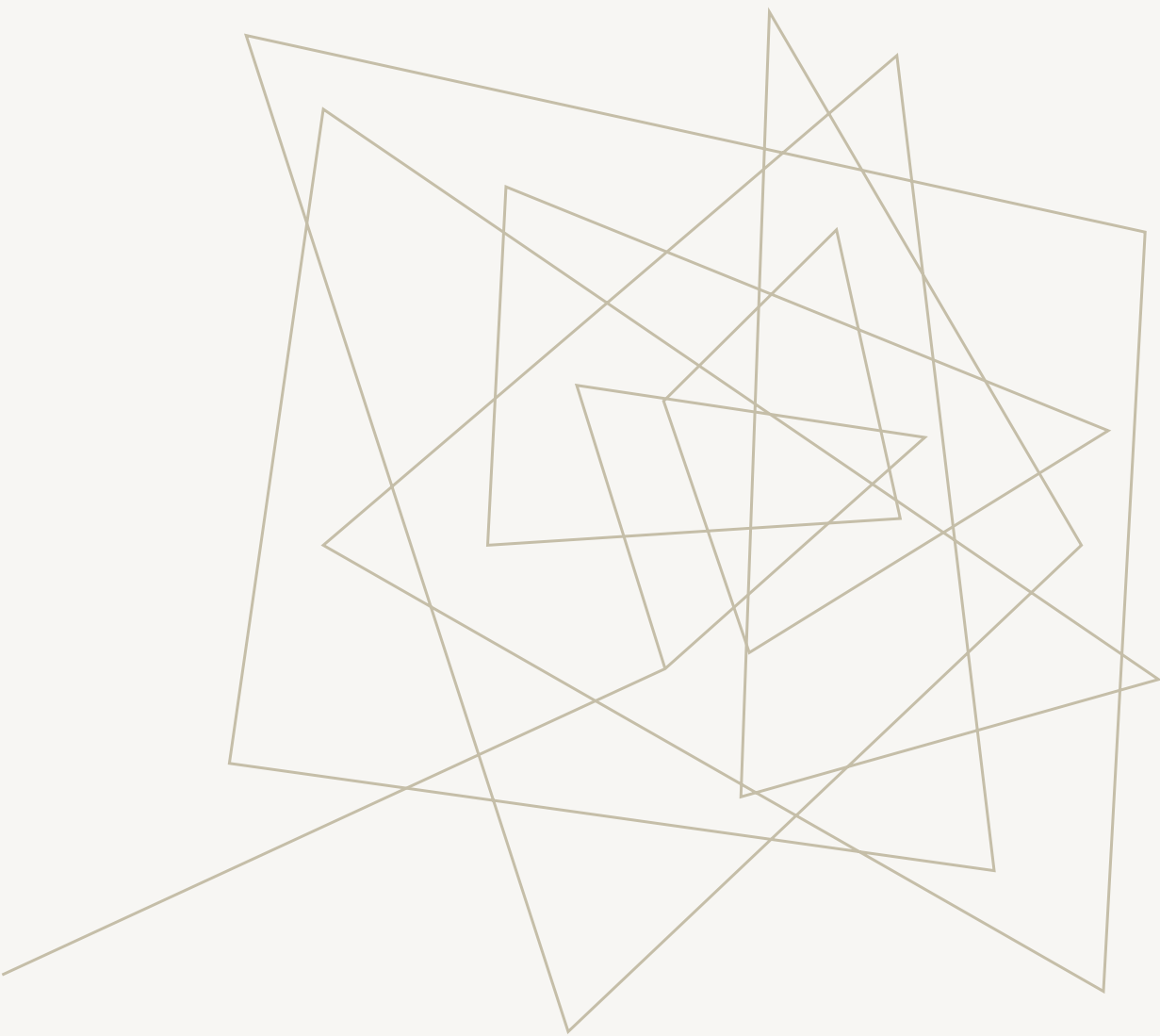
「下水道施設（電気・機械）」コース

【担当部署】 下水道施設課（辻堂浄化センター・大清水浄化センター）

概要

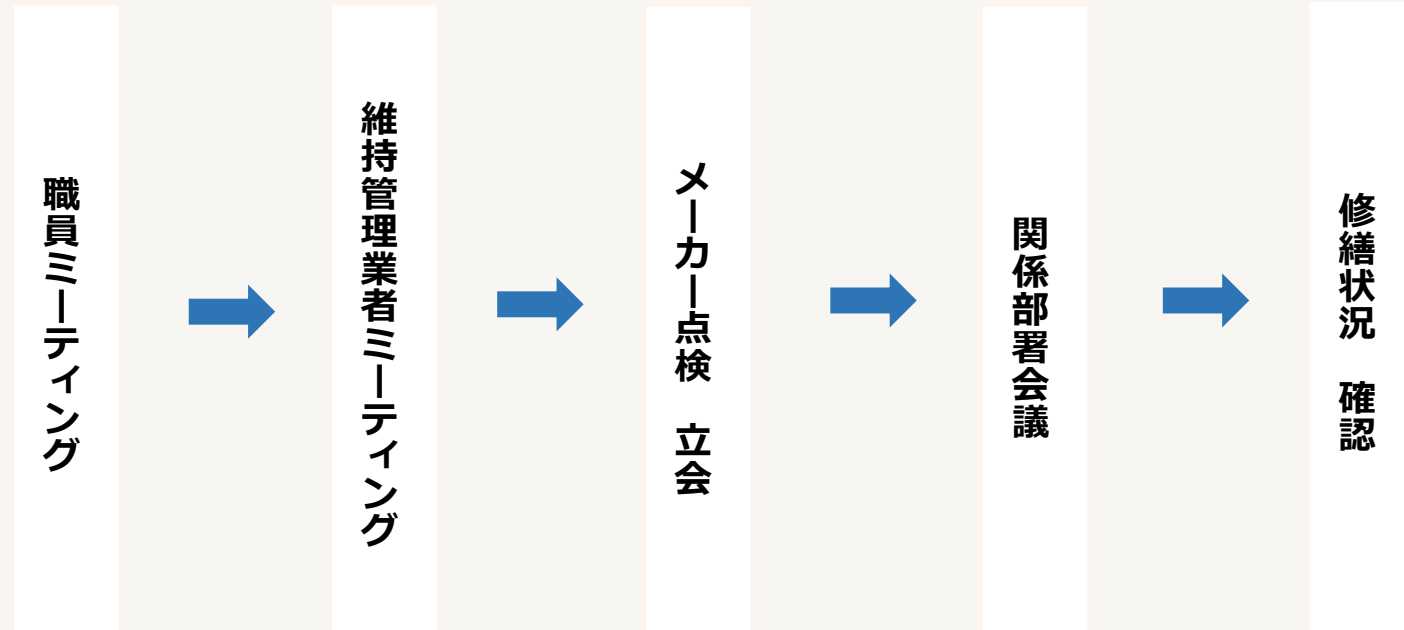
都市における「生活環境の改善」「浸水の防除」「海や川の水質保全」など、市民の暮らしに欠かすことのできない下水道に関わる電気・機械の業務に携わっていただきます。

浄化センターでの施設管理業務等の体験を通して、社会インフラを維持する重要性を感じるとともに、社会インフラが抱えている課題と、今後の対応について一緒に考えることができます。



体験可能な 施設管理業務

浄化センター 担当者の一日（例）



市職員と一緒に浄化センターの施設管理業務等を体験することで、社会インフラを維持する重要性を感じるとともに、社会インフラが抱えている課題や今後の対応について、一緒に考えることができます。

※日によって業務内容は変わります。

浄化センター 担当者の業務①

職員ミーティング

上司から業務指示や連絡事項が周知され、一日のスケジュールを確認します。

＜業務イメージ＞

「13時30分から会議があるな、配布資料を準備しよう」

「16時00分からメーカー修繕状況の確認があるな、内容を再確認しよう」



維持管理業者ミーティング

維持管理業者から、前日の運転状況等の報告を受け、今後の運転方針等を協議します。

※維持管理業者とは、浄化センターの運転や点検等の実務を藤沢市から委託している業者のことです。浄化センターに設置された機械・電気設備の運転操作、日常点検等の実務は維持管理業者が実施しています。

＜業務イメージ＞

「昨日の運転状況や日常点検の結果報告を受けた。大きな問題は無いな」

「ミーティングの結果、明日の機械A、機械Bの点検は予定通り実施だ」



浄化センター 担当者の業務②

メーカー点検 立会

メーカー点検の状況を現場で確認します。

※メーカー点検とは、機器を製作したメーカー等で行う専門的な点検のことです。
浄化センターに設置された電気設備や、機械設備の専門的な点検は、メーカー等に委託して実施しています。
メーカー点検の結果、不具合があった場合は、メーカー等に修繕を依頼します。

<業務イメージ>

「点検状況を現場で確認し、部品交換が必要との報告を受けた。上司に相談して、部品交換修繕の計画をたてよう」



関係部署会議

下水道関連部署が集まり会議をします。
今後の下水道施設再構築、地震対策、大雨対策、省エネ対策等について会議をします。

※下水道施設再構築とは、今後50年先を見据えて人口減少等の社会情勢の変化に対応した効率的な下水道施設の再配置等を行うものです。

<業務イメージ>

「50年後の浄化センター内の施設配置について、AプランとBプランを比較したが、Aプランの方がコストメリットがあるな」



浄化センター 担当者の業務③

修繕
状況
確認

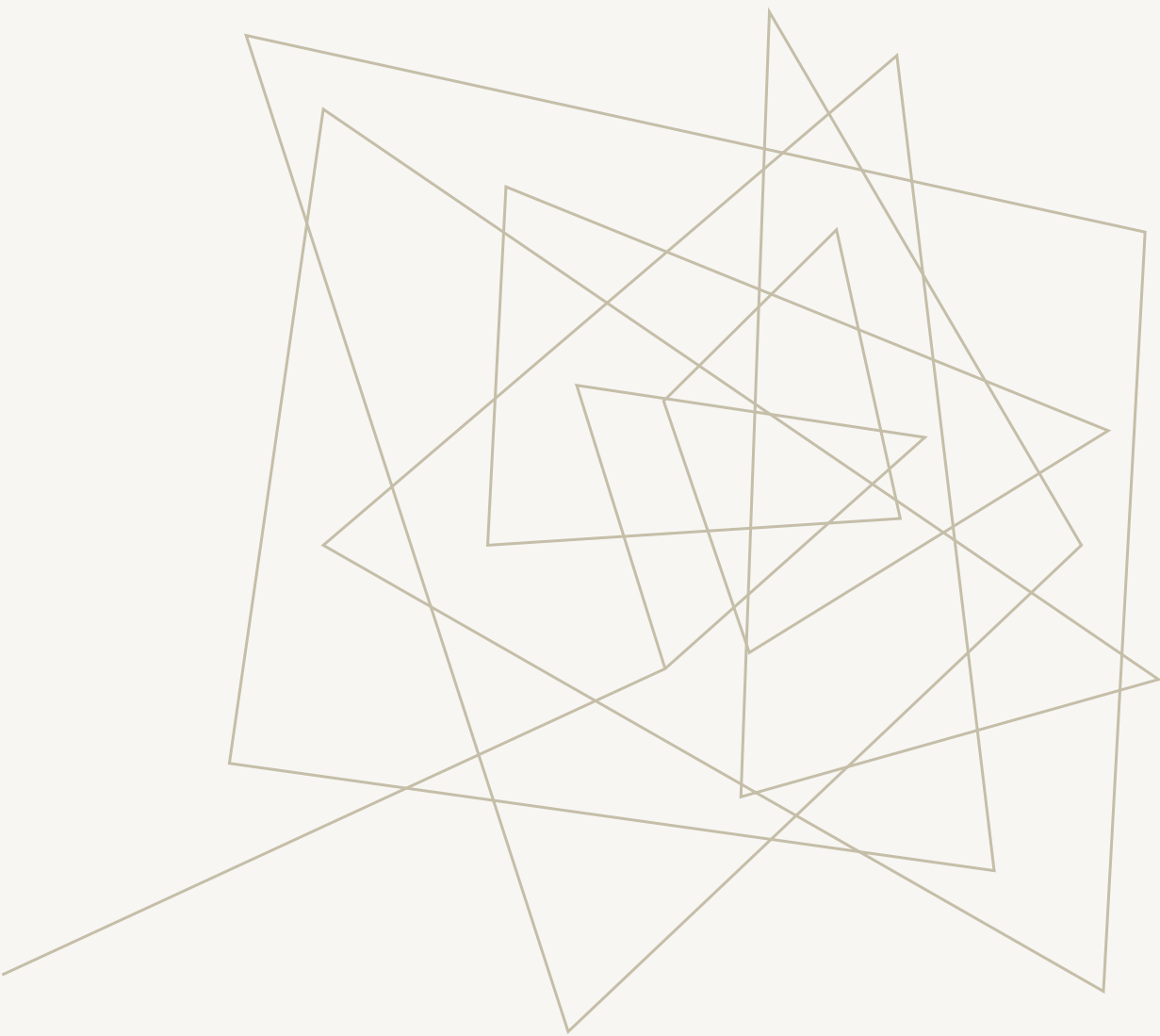
メーカー修繕の状況を現場で確認し、修繕結果の報告を書面で確認します。

※修繕とは、メーカー点検等により確認した不具合を修理することです。
メーカー等の専門業者に修繕を依頼します。

<業務イメージ>

「現場で機械Cの電気部品交換状況や動作状況を確認し、問題なし。
修繕完了報告を書面で確認し、試験結果の数値も問題なし。これで修繕完了だ」





コース内容

内容 下水道に関わる電気・機械の業務体験

担当部署 下水道施設課（辻堂浄化センター 又は 大清水浄化センター）

求める人材 市役所の電気・機械職に興味のある方、携わりたい方

主な業務内容 ◆浄化センターでの施設管理業務等の体験

- ・維持管理業者との打ち合わせへの参加
- ・メーカー点検・修繕の立会業務の体験
- ・関係部署会議への参加

「下水道施設（電気・機械）」コース